

**製品名: BCL2L10 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81863**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	22kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BCL2L10
別名	Boo; Diva; BCL-B; bcl2-L-10
遺伝子 ID	10017.0
SwissProt ID	Q9HD36
免疫原	大腸菌で発現したヒト BCL2L10 (AA: 31-186) の精製された組み換え断片。

**背景**

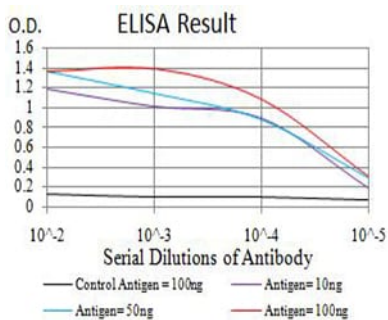
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、BCL-2 タンパク質ファミリーに属します。BCL-2 ファミリーのメンバーはヘテロまたはホモ二量体を形成し、幅広い細胞活動に関与する抗アポトーシスまたはプロアポトーシスの調節因子として機能します。この遺

伝子によってコードされるタンパク質には、保存された BH4、BH1、および BH2 ドメインが含まれます。このタンパク質は、BCL2、BCL2L1/BCL-X(L)、および BAX を含む BCL-2 タンパク質ファミリーの他のメンバーと相互作用できます。この遺伝子の過剰発現は、ミトコンドリアからのシトクロム C の放出を阻害し、それによってカスパーゼ 3 の活性化を活性化することにより、細胞のアポトーシスを抑制することが示されている。このタンパク質のマウス対応物は Apaf1 と相互作用し、カスパーゼ 9 とタンパク質複合体を形成することがわかっており、これはこのタンパク質が APAF1 および CASPASE 9 関連のアポトーシス経路に関与していることを示唆しています。

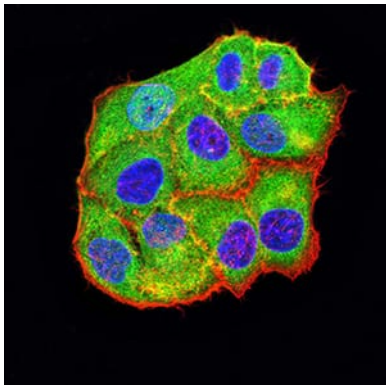
## 研究分野

アポトーシス

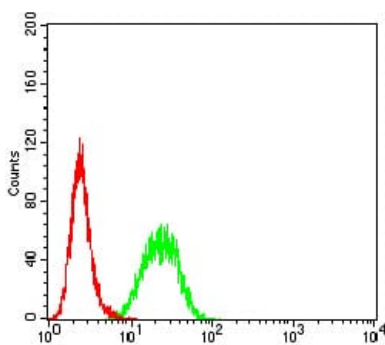
## 画像データ



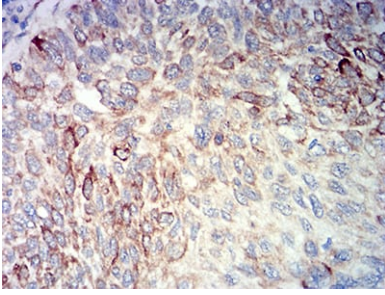
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



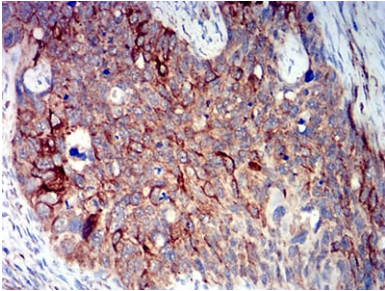
BCL2L10 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



BCL2L10 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による BCL2L10 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による BCL2L10 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。